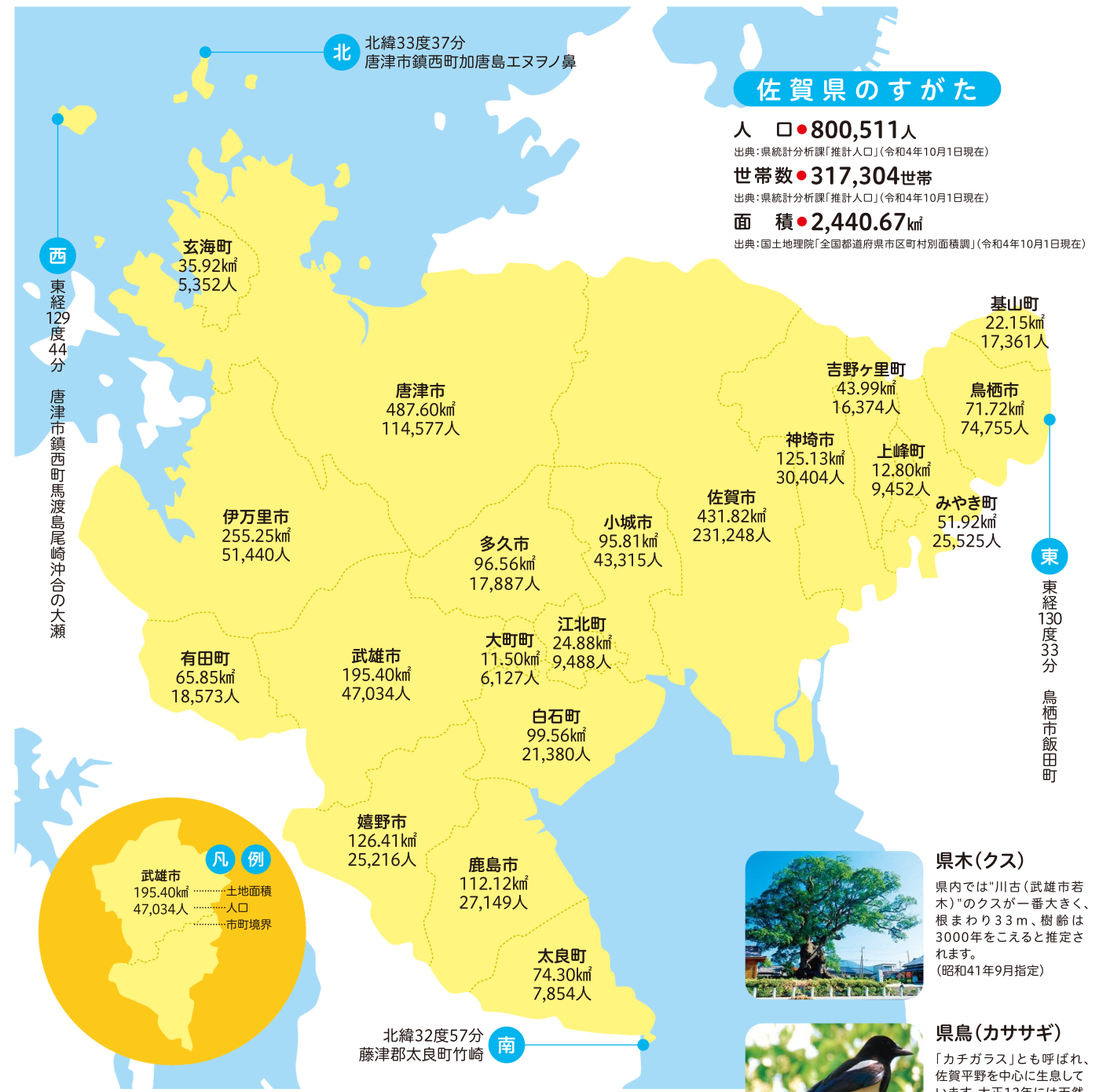
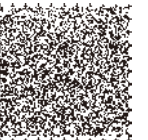


佐賀県
 さいこうビジョン
 2023

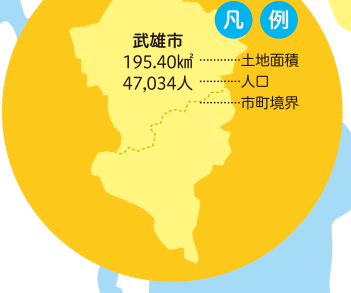
目の不自由な方のための音声コード

音声コードは1.8cm角の中で約1,000文字の情報が記憶できるもので、専用の読み取り機がコードを音声に変換し、文章内容を読み上げます。左の切りかきは、目の不自由な方がコードのある場所を認識するためのものです。



佐賀県のすがた

人口 ● 800,511人
 出典: 県統計分析課「推計人口」(令和4年10月1日現在)
 世帯数 ● 317,304世帯
 出典: 県統計分析課「推計人口」(令和4年10月1日現在)
 面積 ● 2,440.67km²
 出典: 国土院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和4年10月1日現在)



県木(クス)
 県内では「川古(武雄市若木)」のクスが一番大きく、根まわり33m、樹齢は3000年をこえると推定されます。(昭和41年9月指定)

県鳥(カササギ)
 「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。大正12年には天然記念物に指定され、保護鳥となっています。(昭和40年5月指定)

県花(クスの花)
 クスの花は5月に咲き、直径が3~4mmで、愛らしい白ないし淡黄色をしています。(昭和29年3月指定)

佐賀県公式アカウント



色々な「佐賀」を
 続々配信中!

2023年度版 県政ガイド

佐賀さいこうビジョン 2023

佐賀県 佐賀県 広報広聴課
 TEL0952-25-7351 FAX0952-25-7263 〆 kouhou-kouchou@pref.saga.lg.jp

佐賀県ホームページ ▶ 佐賀県 検索

人を大切に、 世界に誇れる佐賀づくり



政策推進の視点

さがすたいる

多様な人々が交流し、相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、みんなが自然に支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカタチを広めていきます。



政策推進の視点

さがデザイン

県産品や街並みなどの「モノ」と、社会のシステムやサービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人のくらし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにします。

県政運営のキーワード

現場

現場第一



ミッション

本来の目的を見失わない

プロセス

声を聴き、議論を重ねる

【目次】

2023年度県の主な取組の紹介

あふれるスポーツのチカラ	3
SAGAサンライズパーク グランドオープン	5
さがの素晴らしいさを発信	7
新たな時代を拓く産業づくり	9
人を育む	11
人にやさしい佐賀づくり	15
佐賀が誇る歴史・文化を発信	17
佐賀の宝を未来へつなぐ	19
子育てし大県“さが”	21
くらしを支える	23
佐賀県のすがた	25



佐賀県を、前へ



今、「佐賀県が元気だ」という声をよく聞きます。

これは様々な分野で、県民の皆さんが前を向いて連携しながら活躍する姿が数多く見られることが増えてきたからだと思います。

佐賀県は、これまで一貫して、地域で、地域のために、地域とともにチャレンジする人を支え、応援を続けてきました。

今年5月には、新時代のエンタメアリーナ「SAGAアリーナ」がオープン。

夢と感動を生み出す新しい空間が誕生しました。

7月には佐賀の豊かな自然を体感できるレイクサイド北山が開園したほか、九州佐賀国際空港は今年度に入ってから台北便、9月から上海便、ソウル便が運航再開となるなど、佐賀県にまた新たな人の流れが生まれ、佐賀に生きる人たちがさらに輝く環境となっています。

そして、来年にはいよいよ、「SAGA2024」が佐賀の地で開催されます。

大会の成功はもちろんのこと、未来に向かっていっぱいレガシーを残していくための大きな布石となるようにしていきましょう。

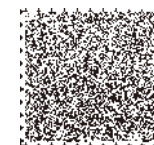
「育成の佐賀」「人に優しい佐賀」「先を行く佐賀」「子育てし大県“さが”」

そんな佐賀を前へ前へ推し進め、そのすばらしさを世界に向けて発信していきます。

人を大切に世界に誇れる佐賀県へ――

私たちは県民の皆さんとともに、前へと進み続けます。

佐賀県知事 山口 祥義





★ 人が輝く!佐賀が輝く! ★

SAGA サンライズパーク グランドオープン



1 佐賀になかった 新たなシーンを実現!

今年5月13日、SAGA2024、さらにその先の佐賀の未来を見据えて整備を進めてきた「SAGAサンライズパーク」がグランドオープンしました。
新時代のエンターテインメントアリーナ「SAGAアリーナ」やカフェ・ショップが入るくつろぎの空間「パークテラス」、3つのコースでランニングを楽しむ「ランニンググループ」などが今回新たに加わり、日常からそれぞれのスタイルで楽しめる心地よい空間に生まれ変わりました。SAGAアリーナ1階から4階までの観客席は、最大勾配35度のすり鉢状で、どの観客席からも見やすく、



サンライズパーク全景

今までの日本にない熱狂的な雰囲気を感じることが出来ます。プロスポーツやコンサート、MICE(学会、展示会など)をはじめ、これまでの佐賀になかった様々なシーンを実現していきます。
夢や感動がうまれるSAGAアリーナを核に、新たな価値を発信するSAGAサンライズパークのこれからの、ぜひご期待ください。



パルナーズがB1昇格を決めたプレーオフ



ライトアップされたSAGAサンライズパーク

お問い合わせ先

- ①【SAGAサンライズパーク】SAGAサンライズパーク整備推進課 ☎0952-25-7482
✉sunrisepark@pref.saga.lg.jp
SAGAサンライズパークHP URL <https://saga-sunrisepark.com/>

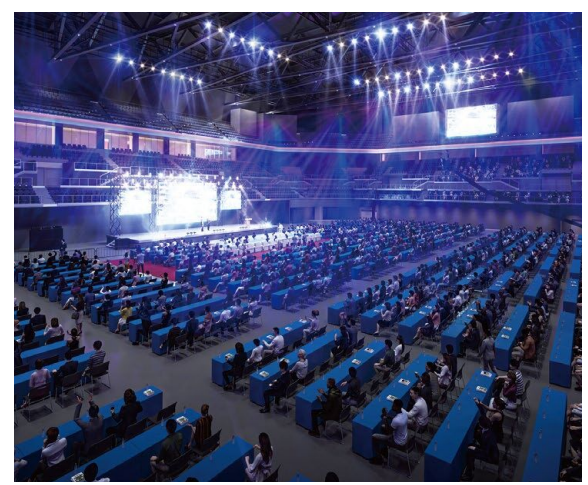
2 SAGAアリーナへの MICEの 誘致を進めます

SAGAアリーナは、スポーツやコンサートだけでなく、学会や業界団体の全国大会、展示会などのMICEも開催可能な多目的アリーナです。MICEは、スポーツ大会やコンサートと比べて、平日に開催されることが多く、開催期間も3日程度あることから、県内での宿泊や飲食、土産物の購入や観光などにつながることで、県内経済への波及効果が期待されています。SAGAアリーナの完成により、これまで佐賀では困難だった大規模なMICEの



展示会・商談会の様子

開催が可能になったことから、県では、今年度から主催者(学会など)への補助制度を設けるなど、誘致活動を本格化していきます。



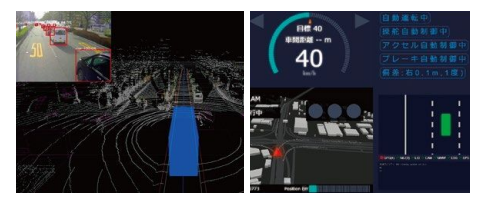
学会のイメージ

3 佐賀県をデジタル先進技術 実証フィールドへ

Society 5.0の新たな時代に向けて、柔軟な発想やデジタル技術を持つ多様な人材が集結し、佐賀県を実証フィールドとして、様々なチャレンジを行っています。SAGAアリーナでは、高速かつ大容量の通信技術「ローカル5G」を活用し、これまでにはない臨場感あるスポーツ映像の配信や、離れた場所から遠隔操作ロボットを使ってイベントに参加するといった実証実験を行うほか、「サンライズストリート」(市道・三溝線)では、新たな移動手段として、自動運転バスの走行実証を佐賀市と共同で行います。

こうした新たな取組に数多くチャレンジすることで、デジタル技術でイノベーションを巻き起こし、佐賀から未来の扉を開いていきます。

自動運転バスのイメージ



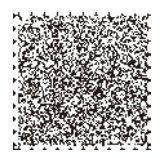
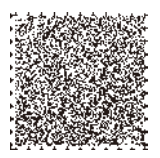
センサーによる状況把握 自動運転をモニター表示



ハンドルが自動で動く! 最高速度40km/h

お問い合わせ先

- ②【MICE誘致】SAGAアリーナMICE誘致促進チーム「markA」 ☎0952-25-7620 ✉sagaarena-marka@pref.saga.lg.jp
- ③【デジタル先進技術実証】政策チーム ☎0952-25-7032 ✉seisakuteam@pref.saga.lg.jp





人が輝く!佐賀が輝く!

あふれる スポーツのチカラ



1 SAGA2024 ボランティア募集中!

SAGA2024の開催がいよいよ来年に迫り、今年5月からは、県内各地で国民スポーツ大会のリハーサル大会が開催されるなど、大会に向けた準備もますます本格化。開催準備が進む中で、大会の公式イメージソング「Batons ～キミの夢が叶う時～」のプロモーションビデオも完成し、大会に向けた機運が高まっています。

SAGA 2024

- 国民スポーツ大会**
2024年10月5日(土)～15日(火)
※会期前実施競技/9/5(木)～17(火)、9/21(土)～10/1(火)
- 全国障害者スポーツ大会**
2024年10月26日(土)～28日(月)

詳しくはこちら

SAGA2024イメージソング
「Batons ～キミの夢が叶う時～」



応募締切:2024年2月末まで
※定員に達し次第募集を終了します

皆さんの参加をお待ちしています。
佐賀での開催は50年に1度。一緒に新しい大会をつくりましょう!

現在、SAGA2024では、大会運営に関わる様々な活動を行っていたくボランティア「Sagantier!」(サガンティア)を募集しています。サガンティアは、「SAGA(佐賀)」と「Frontier(フロンティア)」を合わせた言葉で、「佐賀から新たなスポーツシーンを切り拓く」という意味を込めています。サガンティアは大会を支える大切な主役のひとりです。

2 スポーツ医科学の チカラでさらなる育成を

県では、佐賀から世界に挑戦するアスリートの育成とスポーツ文化の拡大を目指すSAGAスポーツピラミッド構想(SSP構想)を掲げ、アスリート・指導者の育成や就職支援、練習環境の充実などに取り組んでいます。
今年度は、西九州大学と連携し、筋力や最大酸素摂取量など、アスリートの基礎

4 「チームSAGA部活」を 立ち上げました



近年の部活動を取り巻く環境は、生徒数減、生徒や保護者のニーズの多様な変化など大きく変

化しています。県教育委員会では、学校と地域が連携・融合した新たな部活動スタイルを「SAGA部活」と名付け、モデルパターンを示すなど、SAGA部活の推進に取り組んでいます。

今年度は新たに、保健体育課にSAGA部活推進総括コーディネーターを配置し、「チームSAGA部活」を立ち上げました。コーディネーターは、指導者の確保や課題解決のための助言、市町への支援などを行っています。「チームSAGA部活」は、様々な課題に対応するために、競技団体や県庁内の関係部局などと、連携を強化していきます。

こうした取組などを通して、生徒たちにとってより良い部活動の環境を整えていきます。

体力を国立スポーツ科学センターの基準に沿って測定できる体制を整え、選手や指導者が現在の能力を正しく把握し、より効率的な育成を進める環境づくりを行います。また、医師会などと連携し、生理や骨粗鬆症など女性アスリート特有の健康問題について、アスリートの人生に寄り添って相談や検査、診療ができる仕組みを整え、佐賀だからできるアスリート支援を続けていきます。



3 プロスポーツチームを 応援しよう

男子プロバスケットボールチームの佐賀バルナーズが、SAGAアリーナでB1昇格、B2優勝という新たな歴史を刻みました。

県内にはほかに、プロスポーツのトップリーグで戦うサガン鳥栖、久光スプリングスなどがあり、数少ないJ1リーグ、



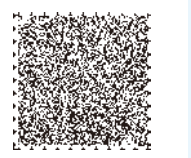
佐賀バルナーズB2優勝! ©B.LEAGUE



久光スプリングスによるバレー教室

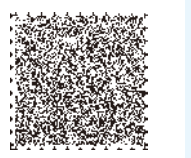
お問い合わせ先

- 1【サガンティア】SAGA2024総務連携チーム ☎0952-25-7322 ✉saga2024soumu@pref.saga.lg.jp
SAGA2024HP(サガンティア) URL https://saga2024.com/sagantier/
- 2【SAGAスポーツピラミッド構想】SAGAスポーツピラミッド推進グループ ☎0952-25-7345
✉ssp-g@pref.saga.lg.jp
SSP公式ホームページ URL https://ssp.saga.jp



お問い合わせ先

- 3【プロスポーツ等活用】スポーツ課 ☎0952-25-7334 ✉sports@pref.saga.lg.jp
サガン鳥栖HP URL https://www.sagan-tosu.net/ 久光スプリングスHP URL https://saga-springs.co.jp/
佐賀バルナーズHP URL https://ballooners.jp レオブラックサガ・レオナイターズHP URL http://karatsuleoblacks.jp
トヨタ紡織九州レッドトルネードSAGA URL https://red-tornado.com/
- 4【SAGA部活】保健体育課 ☎0952-25-7235 ✉hoken-taiiku@pref.saga.lg.jp





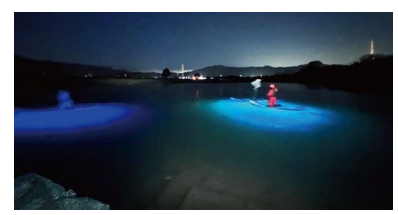
人が輝く!佐賀が輝く!

さかの 素晴らしさを発信

1 佐賀型観光プロダクツで 新しい「佐賀旅」を

近年、旅のスタイルは、団体旅行よりも
少人数、家族旅行などの個人旅行を楽しむ
人々が増え、訪問先での「体験」を重視した
旅行商品が選ばれるなど、旅行者のニーズ
も多様化しています。

県では、こうした変化に対応するために、
日常的な地域の観光資源の高付加価値化
や新たな観光素材
の発掘などにより、
佐賀ならではの「本
物のよさ」を体験で
きる観光プロダク
ツの創出にチャレン
ジする民間事業者
などを支援してい
ます。



多布施川星空ナイトSUP(佐賀市)
写真提供:たいようアウトドア



轟の滝テントサウナ(嬉野市) 写真提供:嬉野温泉観光協会



テントサウナ内部の様子 写真提供:嬉野温泉観光協会

こうして生み出された「佐賀型観光プロ
ダクツ」を、訪れた人が地域の人々と触れ
合いながら体験することで、旅を満喫
するとともに、再び佐賀に來たいと思っ
ただけようような心惹かれる佐賀旅の
創出に取り組みます。

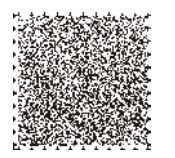
2 新たな佐賀を楽しむ 「レイクサイド北山」

県では、佐賀が持つ豊かな自然を活かし、
様々な魅力を体感する「OPEN・AIR
佐賀」の環境整備の一環として、美しい森
と湖が広がる北山湖周辺エリアを「レイク
サイド北山」として、一体的に再整備を進め
ています。

「レイクサイド北山」では、全長1111m
のローラースライダー「北山モンスターⅢ」
をはじめ、ウエルカムセンターのウッド
テラス拡張やサイクリングゲロード
「ROUTE H」のビュースポット整備
などを行い、北山湖周辺で自然をさらに
満喫できるようにしました。また、改修
工事のため休場中の北山キャンプ場では、
オートサイトやWiFi環境の整備など、
近年のキャンプ場利用者の方々のニーズに
対応した施設として、今秋のリニューアル

お問い合わせ先

- ①【佐賀型観光プロダクツ】観光課 ☎0952-25-7386 ✉kankou@pref.saga.lg.jp
- ②【北山キャンプ場】有明海再生・自然環境課 ☎0952-25-7080 ✉ariakekaisaisei@pref.saga.lg.jp
- 【レイクサイド北山】森林整備課 ☎0952-25-7136 ✉shinrinseibi@pref.saga.lg.jp



オープンに向け、準備を進めています。
より魅力的なエリアとして生まれ変
わる「レイクサイド北山」にぜひお越
しください。

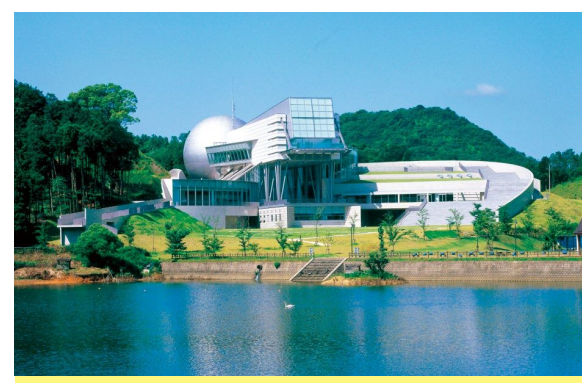


北山キャンプ場整備イメージ図

3 宇宙科学館 「宇宙発見ゾーン」が 生まれ変わります!

佐賀県立宇宙科学館の「宇宙発見
ゾーン」を最新の宇宙科学・技術を楽し
く学べる体験展示へ全面リニューアル
します。

「宇宙へのはるかな旅」宇宙と人類の
壮大なドラマを展示コンセプトに、
様々な惑星や月の重力を体感したり、
管制官となり物資補給船を月周回軌道
へと投入するミッションに挑む参加型
ゲームなど、他館では体験できないよ
うな展示コンテンツを多数設置します。
さらに、JAXAと連携したコーナーで
は最新の宇宙関連情報を随時発信する
とともに、障害を持った方々や未就学児
など誰もが安心して楽しめる展示・空間
を目指します。
生まれ変わった「宇宙発見ゾーン」を
ぜひお楽しみください。



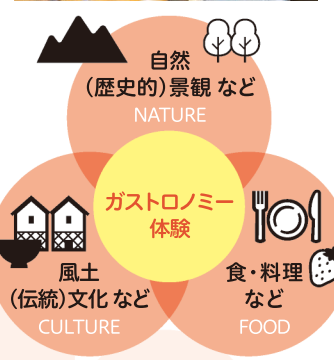
■ 宇宙科学館「宇宙発見ゾーン」
令和6(2024)年3月中旬 オープン予定

4 食文化体験を通じて 地域活性化を目指します

県では、佐賀の気候風土が生んだ習慣、
伝統、歴史などによって育まれた食や食
文化を中心に、多様な地域資源を組み合
わせて高付加価値の体験型コンテンツの
創出を進めています。

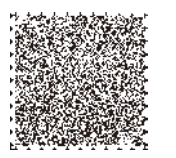
今年度は、名護屋城周辺の陣屋※の数に
ちなんで約150席分のテーブルを屋外
に並べ、地元料理人が地元食材や器を
使って特別な料理を提供するイベントや、
佐賀ラーメンのルーツや特色を紹介して
全国的に存在感を高めるとともに、佐賀
ラーメンと全国有名店のラーメンを有田
焼の器で堪能するイベントを開催します。
これらの取組を通して、県内に多くの
観光客を呼び込み、地域経済の好循環へ
とつなげていきます。

※豊臣秀吉の朝鮮出兵に際し、全国から参集した
諸大名の屋敷



お問い合わせ先

- ③【宇宙科学館「宇宙発見ゾーン」リニューアル】文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
佐賀県立宇宙科学館HP URL https://yumeginga.jp/
- ④【ガストロノミーリズム*推進】企画チーム ☎0952-25-7360 ✉kikakuteam@pref.saga.lg.jp
※その土地の気候風土が生んだ習慣、伝統、歴史などによって育まれた食や食文化を体験することを目的とした旅行





人が輝く!佐賀が輝く!

新たな時代を拓く産業づくり



1 U-1ターナー人材確保の取組を進めています

佐賀県には、地域を支える企業や佐賀を拠点に国内外で活躍する企業が数多くあります。これまで県では、高校生や保護者向けの県内企業合同説明会や教員や大学生などを対象とした県内企業との交流会などを開催し、仕事のやりがいや県内企業の魅力に加え、自然や食に恵まれた佐賀の豊かな暮らしを伝えることにより、県内企業への就職促進に取り組んできました。

コロナ禍を経て地方への関心が高まっていることから、新たに県内出身者の多い東京・大阪・福岡をはじめ、誰もが参加しやすいオンラインによる県内企業との交流会などを行い、県外からの人材の確保に取り組みます。

2 県内企業のGXの取組を支援します

2050年カーボンニュートラル※の実現に向け、脱炭素や温暖化対策を経済の成長につなげるグリーン・トランスフォーメーション(GX)が国内外で進められており、社会の機運も高まっています。

県では、県内企業のGXの取組を広めるために、モデル企業を創出します。企業経営の脱炭素化に向けた課題などを多角的に把握し、その課題解決に向けた支援を行い、脱炭素を推進しながら企業の成長につなげていきます。

また、モデル企業の取組事例を広く紹介し、他の企業への普及を目指します。

※政府は2050年までに温室効果ガス(CO2)などの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロとするカーボンニュートラルを目指すことを宣言



佐賀県就職情報サイト「さがジョブナビ」



さがを深く知る大交流会「サガシル」の様子



事業の目指す姿は、GXに取り組む企業が、取引先や消費者などに選ばれるようになること

3 佐賀の未来を拓く成長産業

県では、佐賀の未来を拓く成長産業である半導体産業やコスメティック産業などにおいて、人材確保・育成や取引拡大、企業誘致を推進します。

半導体産業では、産学官で構成する「さが半導体フォーラム」による、半導体産業の可能性を若者に発信するシンポジウムや工場見学ツアーを開催します。また、関連企業に最新の業界動向や技術情報を共有するトップセミナーの開催、首都圏などの展示会への出展支援などにより、県内企業の連携強化や取引拡大を通じて産業の更なる成長につなげます。



コスメティック産業では、佐賀発の付加価値の高い化粧品を開発を目指し、佐賀大学に設置した「化粧品科学 共同研究講座」で、最先端技術や県産素材の機能性に関する研究開発のほか、若手研究者の育成に取り組みます。また、高校生などを対象とした化粧品セミナーを開催するなど、未来を担うコスメ人材の育成にも取り組めます。

4 佐賀が誇る県内事業者を未来につなぎます

県内の多くの事業者が、後継者不足に直面していることから、県では、「後世に残したい店※1」を選定することで、事業承継への機運醸成を図っています。これまで第三者承継※2のマッチングが150件以上成立しましたが、まだ6〜7千社で後継者が見つかっていません。

このため、今年度から、「佐賀の事業をつなぐプロジェクト」を立ち上げ、第三者承継の成立を加速させるため「事業引継ぎ奨励金」を創設しました。また、事業承

5 佐賀県産品をさらに磨き上げ、世界へ!

県では、欧州やアジア地域に着目し、輸出に関心のある県内食品事業者をサポートする「EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援※事業」を実施します。世界で活躍している日本産品を扱っている商社などとタッグを組み、現地の食文化や嗜好などに合わせるなど市場ニーズを考慮した商品選定や海外向けの商品パッケージの改良など、きめ細やかな支援を行うことで、定番商品化による継続的な輸出を目指します。

※ハンズオン支援/知識と経験が豊富な専門の方が、広く様々なアドバイスを行うこと



さが半導体フォーラムの様子



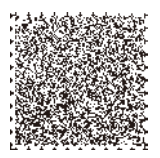
高校生向けセミナーの様子



化粧品科学共同研究講座の様子

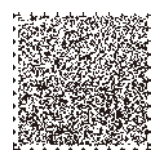
お問い合わせ先

- ③【成長産業支援】ものづくり産業課 ☎0952-25-7421 ✉monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
コスメティック構想推進室 ☎0952-25-7397 ✉monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp
企業立地課 ☎0952-25-7097 ✉kigyouricchi@pref.saga.lg.jp
SAGA立地ナビ URL <https://www.saga-kigyorichi.jp/>
- ④【佐賀の事業をつなぐプロジェクト】産業政策課 ☎0952-25-7251 ✉sangyouseisaku@pref.saga.lg.jp
後世に残したい店 URL <https://saga-nokositaimise.com>
- ⑤【EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援】流通・貿易課 ☎0952-25-7146 ✉globalsupport@pref.saga.lg.jp



お問い合わせ先

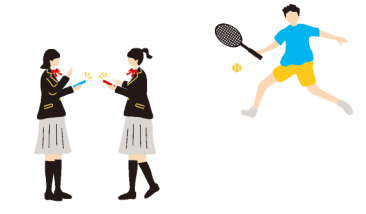
- ①【人材確保】産業人材課 ☎0952-25-7310 ✉sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp
- ②【GX推進】産業グリーン化推進グループ ☎0952-25-7380 ✉sangyou-green@pref.saga.lg.jp





人が輝く!佐賀が輝く!

人を育む



彩志学舎中学校

2 夜間中学を 開校します!

来年4月に県立夜間中学「彩志学舎
中学校」を佐賀北高校通信制校舎内に
開校します。
夜間中学とは、国籍や年齢を問わず、
様々な理由により義務教育を修了して
いない方や、不登校などで十分な教育を
受けられなかった方などのための「学び
直し」の学校です。

1 県立高校の 普通科改革を推進します

県教育委員会では、県立高校普通科
において、社会のニーズや生徒の興味・
関心を踏まえ、学科などの見直しに
取り組むことにより、各高校の特色化や
魅力化を促進する「普通科改革」を行って
います。
来年4月から、新たに佐賀東高校に
スポーツ分野で活躍する人材の育成を
目指す「スポーツ科」を設置します。また、



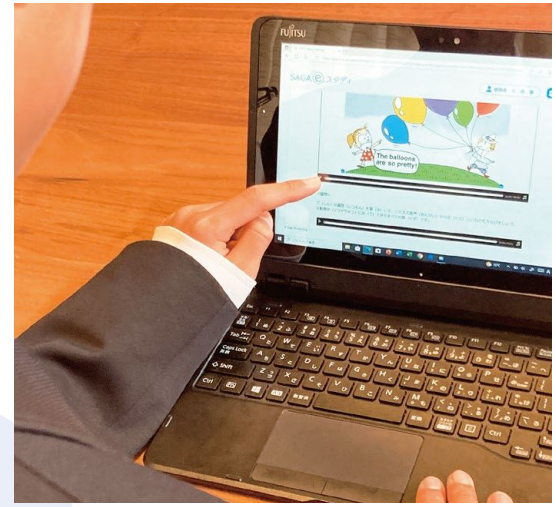
3 「教育DX」 プロジェクト を始動します

県教育委員会では、ICT活用教育の
トップランナーとして、1人1台端末の
導入をはじめICTの日常的な活用を
推進し、昨年度から佐賀県版英語学習デジ
タル教材「SAGA eスタディ」、ICT活用
教育情報サイト「SAGA Eコネット」を
運用しています。

唐津西高校普通科に「地域探究進学
コース」と「学際探究進学コース」を、鹿島
高校普通科に「文理探究進学コース」と
「未来探求進学コース」を設置します。
県立高校の魅力や強みを磨き上げ、
積極的に発信することにより、唯一無二
の誇り高き学校づくりを推進し、これ
からの時代に求められる人材を育成・
輩出していきます。

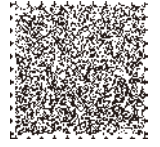


今年度からは「教育DXプロジェクト」
を始動し、「子ども主体の学び」「教職員
の働き方改革」を柱にデジタル技術に
よる教育の変革を進めていきます。
新規事業として、学習データのクラ
ウド化やデジタル採点システムなどの
検証を行います。
「誰もがいつでもどこでも 誰と
でも 自分らしく学ぶことができる
子ども主体の学び」の実現を目指し、
今後も様々な取組を進めていきます。
※1/デジタル技術を活用し、子どもたちの
学びの変革や教職員の業務改革を通じて
「Society 5.0」時代に対応した
教育を確立していくこと



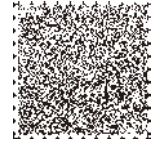
お問い合わせ先

- ②【夜間中学開校】教育振興課 ☎0952-25-7476 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp
 - ③【教育DX推進】教育DX推進グループ ☎0952-25-7363 ✉kyouikudx-g@pref.saga.lg.jp
- SAGA Eコネット URL <https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



お問い合わせ先

- ①【県立高校の普通科改革】教育振興課 ☎0952-25-7424 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp





介護を担う”人財“として活躍して欲しいという想いから「佐賀の介護人財あいプロジェクト」に取り組んでいます。



介護の仕事は、人と人のふれあいを通じ、感動と成長を実感できる素晴らしい仕事です。小・中学生や高校生といった若い世代に介護の仕事への興味・関心を持ってもらい、将来の

5 将来の介護を担う若い世代を育て、応援します



4 もっと知ってほしい、建設業のこと

建設業は、県民の日々の暮らしを支え、地域の未来を形づくる創造的で素晴らしい仕事です。道路や河川、公園など社会資本の整備・維持管理だけでなく、災害が発生した際には最前線でも対応し「地域の守り手」として、無くてはならない存在でもあります。県では建設業界と連携し、高校生をはじめとする若い世代に建設業を体感してもらうための取組を行っています。

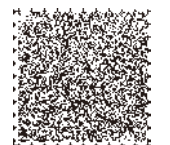


建設現場体験会の様子

具体的には、県内土木・建築系の高校生を対象とした出前講座やICTを活用した最新施工技術の体験、建設業合同企業説明会、小学生の親子を対象とした佐賀唐津道路の建設現場体験会を実施しています。また、建設業の魅力を伝える動画の配信なども行っています。建設業だからこそ味わえる、ものを作り上げていくことの喜びを発信し、人材の確保・育成につなげていきます。

お問い合わせ先

④【建設業の魅力発信】建設・技術課 ☎0952-25-7153 ✉kensetsu-gijutsu@pref.saga.lg.jp
佐賀建設業の魅力発信「ユビサシカクニン」
URL https://www.youtube.com/@yubisashi_kakuninch



6 みんなに知ってほしい保育の奥深さ！

小・中学生向けの介護の仕事体験イベント「キツザケア サガ」は好評をいただき、3年目の開催となる今年も、イベントの参加人数を増やして実施します。また、佐賀の介護の仕事と出会うサイト「さがケア」は会員登録が可能となり、SNSと連携することで、より多くの方へ情報を発信していきます。介護の資格取得を目指す高校生への支援も引き続き実施し、佐賀の若者が、佐賀の介護を支える未来へ、若い世代を育み応援していきます。

近年、幼児期は、心と体の基礎を育む大切な時期という認識が広まり、幼児の成長をサポートする保育の仕事の重要性が高まってきています。また、保育の仕事は、一人一人の子どもの成長を身近で感じながら、一緒に成長できるやりがいがある大きな仕事です。多くの方に保育の仕事に興味を持ってほしいという想いから、普段幼児と関わるのが少ない中学生や高校生への発信に取り組んでいます。

中学校家庭科の幼児とのふれあい体験学習をサポートするハンドブックの作成・配布や、保育の現場を見ることができ、保育所などの見学会の開催により、保育の魅力を感じてくれる機会を提供し、将来の保育を担う人材の確保・育成につなげます。



詳しくはこちら



お問い合わせ先

⑤【介護人材育成】長寿社会課 ☎0952-25-7105 ✉tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp
さがケア URL <https://saganokaigo.jp/>
⑥【保育の魅力発信】こども未来課 ☎0952-25-7616 ✉hoikuyouchien@pref.saga.lg.jp



歩こう。佐賀県。



県では、「歩こう。佐賀県。」をスローガンに、徒歩や自転車、公共交通を普段の移動に取り入れる「歩くライフスタイル」を推進しています。昨年度に引き続き、今年度も県内を走るバスの運賃を無料にする「さがバスまるっとフリーDAY」を実施します。この機会にバスを利用された方からは、「バス通勤もよいと思った」「車なら気づかないお店や風景を発見できた」といった気づきの声も聞かれました。バスの便利さや快適さを知っていただき、マイカーに頼り過ぎない「歩くライフスタイル」に取り組む人が増え、まちも人も元気で過ごしやすい佐賀県を目指します。

3 バス無料を歩くライフスタイルのきっかけに!

5 「多文化共生の地域づくり」の推進

県内における在留外国人人数(令和5年1月1日時点)は、7,785人と過去最多となりました。その多くが、県内の

※1/気候変動への影響を小さくする持続可能なライフスタイル

※2/洗って繰り返し使うことができるカップ



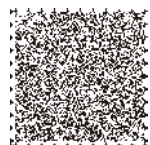
外国人と地域住民との交流会



事業所研修

お問い合わせ先

- ③【歩くライフスタイル推進】 交通政策課 ☎0952-25-7525 ✉koutsuuseisaku@pref.saga.lg.jp
- ④【脱炭素型ライフスタイル推進】 環境課 ☎0952-25-7079 ✉kankyouto@pref.saga.lg.jp
- ⑤【多文化共生の地域づくり】 国際課 ☎0952-25-7328 ✉kokusai@pref.saga.lg.jp



人が輝く!佐賀が輝く!

人にやさしい佐賀づくり



1 佐賀らしい、やさしさのカタチ「さがすたいる」



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ

お年寄りや障害のある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく過ごせる、佐賀らしいやさしさのカタチ「さがすたいる」を広める取組を行っています。例えば、障害のある方など当事者の意見を取り入れた人にやさしい施設やサポート体制を専用サイトで紹介したり、誰もが安心して参加し、楽しめるイベント



交流イベントの様子



UD出前講座



さがすたいる倶楽部店舗

2 アトピー治療薬の開発を支援します!

令和3(2021)年度から「TSUNAGIプロジェクト」と称し、県内の大学など高等教育機関が持つ技術やノウハウなどを有効活用することで、地域課題の解決や産業、学術の発展につなげ、佐賀の未来を創造していくことを目指しています。

今年度は、新たな連携事業のひとつとして「アトピー治療薬の開発支援」に取り組みます。これは、令和5年1月に佐賀大学が「アトピーのかゆみの原因を解明するとともに、その阻害剤を発見を公表したことを受けて、県が新薬開発の基礎研究を支援するものです。

県では、アトピーで悩む多くの患者を救う新薬の実現を後押ししていきます。

事業所で働き、様々な産業を支えており、外国人材を受け入れる事業所では外国人が働く環境の整備や地域との関わりを創出していくことが求められています。県では、事業所内などでオリエンテーションや研修会などを開催することで、外国人が地域において安心して生活し、活躍できる環境を整備するとともに、地域において日本人との交流の機会を創出することで、多文化共生の地域づくりを推進していきます。

お問い合わせ先

- ①【さがすたいる】 県民協働課 ☎0952-25-7068 ✉kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp
さがすたいるウェブサイト URL <https://saga-style.jp>
- ②【TSUNAGIプロジェクト】 企画チーム ☎0952-25-7360 ✉kikakuteam@pref.saga.lg.jp





写真提供:佐賀県観光連盟



人が輝く!佐賀が輝く!

佐賀が誇る 歴史・文化を発信



1 吉野ヶ里遺跡の 素晴らしいさを発信!

3か月で100万人が訪れた「吉野ヶ里
フィーバー」から35年。「謎のエリア」とも
呼ばれる場所での発掘調査が続き、新たな
発見が相次いでいます。これに合わせて
日本最大の遺跡である吉野ヶ里遺跡を
より多くの方に知っていただくため、様々
な取組を行っています。

今年度は、新しい技術を用いて発掘現場
を展示空間に仕上げ、より分かりやすく、
楽しく現場を見学できるようにするほか、



発掘体験の様子



石棺墓

発掘調査の様子をライブ配信するなど
リアルタイムに調査の情報を発信します。
さらに、調査中の発掘現場で行う発掘
調査体験会や遺物の水洗・復元などを
体験できる整理作業体験会、収蔵している
出土品などを見学できるバックヤード
ツアーを開催します。
「本物」の遺跡の素晴らしいさや発掘調査
を体験できる絶好の機会ですので、ぜひ
吉野ヶ里遺跡へお越しください。

お問い合わせ先

①【吉野ヶ里遺跡発掘調査】文化課 文化財保護・活用室 ☎0952-25-7233 ✉bunkazaihogo@pref.saga.lg.jp
ナゾホルよしのがりHP URL https://yoshinogari.fun

2 佐賀の偉人たちの 志を未来へ

来年、維新の十傑と
うたわれた江藤新平が
没後150年を迎える
ことから、江藤の功績
を紹介し、顕彰する特
別展を佐賀城本丸歴史
館で開催します。江藤
は、明治政府における
官制改革の提案や国民
皆教育の導入に力を尽
くし、また、初代司法卿
として近代的な裁判制
度を採用するなど、常に「国民のため」を
思い、多くの仕事を成し遂げました。これら
江藤の功績や志などを、映像や歴史資料
の展示により分かりやすく伝えます。

佐賀城本丸歴史館
■ 江藤新平特別展
令和6年3月15日(金)～5月12日(日)

また、昨年の佐野常民生誕200年を
契機に、日本赤十字社の創設など多方面で
輝かしい功績を残した佐野の銅像を佐賀駅
とSAGAサンライズパークの間の多くの
人が行き交う佐賀県赤十字血液センター
前に設置します。
こうした取組を通じて佐賀の偉人たちの
志を「今」と「未来」につなげていきます。

3 名護屋城跡・陣跡を 文化観光の拠点に

「名護屋城跡並びに陣跡」は、約400
年前、豊臣秀吉や徳川家康など150以上
の全国の名だたる大名・武将が一堂に
集結した城郭の遺跡群です。そこでは
人口20万人を超える世界最大級の大都市
が出現し、茶の湯や能による文化交流が
行われ、伝統文化発展の「はじまりの地」
となりました。県では、「はじまりの名護
屋城。」をコンセプトに、そうした唯一無二
の価値を磨き上げ、発信しています。



「黄金の茶室」体験プログラムの実施や
「草庵茶室」の復元、城跡・陣跡への周遊
促進のための
サイン整備、
周遊イベント
開催のほか、
今年度も3月
に城跡周辺工
リアで大茶会
を開催するこ
とで、さらな
る文化観光の
拠点を目指し
ます。

4 やきもののまち有田で クリスマスマーケットを 開催!

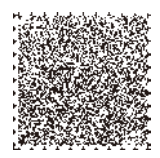
この冬、佐賀県と有田町、有田焼卸団地
協同組合が協力し、これまでになく新た
なクリスマスマーケットを開催します。
透き通るような白や美しい絵付け、
スタイリッシュなデザインなど、さまざま
特徴を持つ有田焼のセレクトショップが
並び「アリタセラ」に、華やかなクリスマス
イルミネーションが出現します。さらに、
週末を中心に、飲食・雑貨店が立ち並び
マーケットや音楽などのステージイベント、
やきものにちなんだワークショップを
開催するなど見どころ満載です。



佐賀県が誇る
やきもの文化
の新たな発見
を、ご家族や
友人と楽しみ
ましょう。

お問い合わせ先

- ②【江藤新平特別展】佐賀城本丸歴史館 ☎0952-41-7550 ✉rekishikan@pref.saga.lg.jp
【佐野常民銅像設置】文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
- ③【はじまりの名護屋城。】文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
はじまりの名護屋城。HP URL https://hajimari-nagoya.jp/
名護屋城博物館 ☎0955-82-4906 ✉nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp
名護屋城博物館HP URL https://saga-museum.jp/nagoya/
- ④【アリタセラクリスマスマーケット】アリタセラクリスマスマーケット実行委員会(文化課内) ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp





ガンガゼ駆除の様子(玄海)



放流用のアカウニ



耕うん



放流

玄海・有明海の両海域では、近年の異常気象による災害や地球温暖化による海水温上昇の影響などにより水産資源が減少しています。

そこで県では、それぞれの海的环境下に応じた漁場環境の改善と資源の添加(放流)に取り組めます。玄海海域では藻場※1の食害生物となるガンガゼ※2を駆除し、磯の生物の生息場所を確保するとともに、資源の回復のためアカウニを放流します。

また、有明海海域では、海底耕うんにより二枚貝の生息環境を改善し、サルボウの

3 佐賀の水産資源の回復を目指します



人が輝く!佐賀が輝く!

佐賀の宝を未来へつなぐ



川床・カヌー体験



1 一気通貫で世界へ佐賀牛を届けます



佐賀牛いろはファーム(唐津市)

KAKEHASHI(多久市)

今年6月、「佐賀牛いろはファーム」(唐津市)と、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設(多久市)が本格稼働を開始しました。

佐賀牛いろはファームは、佐賀牛のもととなる肥育素牛の生産に加え、農家所有の不妊牛の治療や畜産担い手の育成の機能も備えており、自県産の肥育素牛の生産を拡大する拠点となる全国有数の規模を誇る施設です。

KAKEHASHIは、EUや米国などへの輸出にも対応できる施設で、これまで他県の輸出対応型施設に頼っていたことによる処理頭数の制約がなくなり、輸出品の増加や海外市場の販路拡大が可能となります。

「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産を拡大し、佐賀の地から直接世界に届け、佐賀牛の振興を図っていきます。

今年6月、「佐賀牛いろはファーム」(唐津市)と、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設(多久市)が本格稼働を開始しました。

佐賀牛いろはファームは、佐賀牛のもととなる肥育素牛の生産に加え、農家所有の不妊牛の治療や畜産担い手の育成の機能も備えており、自県産の肥育素牛の生産を拡大する拠点となる全国有数の規模を誇る施設です。

KAKEHASHIは、EUや米国などへの輸出にも対応できる施設で、これまで他県の輸出対応型施設に頼っていたことによる処理頭数の制約がなくなり、輸出品の増加や海外市場の販路拡大が可能となります。

「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産を拡大し、佐賀の地から直接世界に届け、佐賀牛の振興を図っていきます。

サガンスギの特長



※サガンスギの苗木は、法律に基づき、県外への持ち出しを禁止しています。

現在、山に植えられているスギ林を「サガンスギ」の林に植え替えを進めていくために「サガンスギの森林100年構想事業」に取り組んでいきます。「サガンスギ」の普及を推進することで、森林所有者が安心して森林の経営をできる未来を目指します。

県林業試験場では、優れたスギの新品種を開発するために、半世紀以上前に全国に先駆けて研究を開始しました。長年の研究の成果が「成長が早い」、「強度が高い」、「花粉が少ない」の三拍子揃った「サガンスギ」が誕生しました。

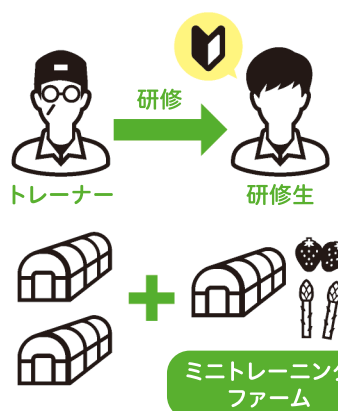
4 佐賀の森林を「サガンスギ」へ

県林業試験場では、優れたスギの新品種を開発するために、半世紀以上前に全国に先駆けて研究を開始しました。長年の研究の成果が「成長が早い」、「強度が高い」、「花粉が少ない」の三拍子揃った「サガンスギ」が誕生しました。

5 「磨き、稼ぎ、つながる農業」へ



さが園芸888運動



※農家自らがトレーナーとなり、就農希望者に対して、生産技術や経営ノウハウを指導するための小規模な研修施設

県では、農家の所得向上と産地拡大のため、令和元(2019)年度から、生産者や関係機関・団体と一体となり、「さが園芸888運動」を展開しています。

今年度から就農希望者を各地域で確保・育成する仕組みとして、ミニトレーニングファーム※を推進していくとともに、新規就農者などの受け皿となる園芸団地の整備を進めていきます。

農家が品質向上や規模拡大など経営力を「磨く」ことで所得を「稼ぎ」、それを目指す新たな担い手が確保され、産地が活性化するという、次世代に「つながる」好循環を創出していきます。

県では、農家の所得向上と産地拡大のため、令和元(2019)年度から、生産者や関係機関・団体と一体となり、「さが園芸888運動」を展開しています。

今年度から就農希望者を各地域で確保・育成する仕組みとして、ミニトレーニングファーム※を推進していくとともに、新規就農者などの受け皿となる園芸団地の整備を進めていきます。

農家が品質向上や規模拡大など経営力を「磨く」ことで所得を「稼ぎ」、それを目指す新たな担い手が確保され、産地が活性化するという、次世代に「つながる」好循環を創出していきます。

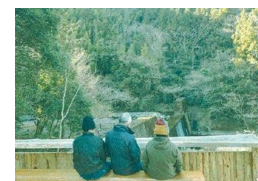
2 川をもっと身近に、川が楽しくKAWARU!



川をもっと身近に、川が楽しくKAWARU



河川環境学習の様子



砂防ダム展望デッキの設置

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむきっかけをつくるため、「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

今年度も、新たに川に親しむイベントや学習会を行う団体への活動支援事業「KAWARUチャレンジ事業」、森・川・海、それぞれで活動する団体同士のネットワーク構築のための交流会を開催します。また、環境学習など啓発活動も予定しています。

川に親しむ活動を通して、県民の皆さんが川の魅力を感じ、学ぶ機会を提供していきます。

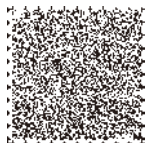
県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむきっかけをつくるため、「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

今年度も、新たに川に親しむイベントや学習会を行う団体への活動支援事業「KAWARUチャレンジ事業」、森・川・海、それぞれで活動する団体同士のネットワーク構築のための交流会を開催します。また、環境学習など啓発活動も予定しています。

川に親しむ活動を通して、県民の皆さんが川の魅力を感じ、学ぶ機会を提供していきます。

お問い合わせ先

- ③【佐賀の水産資源の回復促進】 水産課 ☎0952-25-7145 ✉suisan@pref.saga.lg.jp
- ④【サガンスギの森林100年構想事業】 林業課 ☎0952-25-7131 ✉ringyou@pref.saga.lg.jp
- ⑤【さが園芸888運動】 園芸農産課 ☎0952-25-7114 ✉enginousan@pref.saga.lg.jp
さが園芸888運動HP URL <https://saga888.jp/>



お問い合わせ先

- ①【佐賀牛いろはファーム/佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設】 畜産課 ☎0952-25-7121 ✉chikusan@pref.saga.lg.jp
- ②【KAWARUプロジェクト】 河川砂防課 ☎0952-25-7161 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp
KAWARUプロジェクトHP URL <https://www.pref.saga.lg.jp/list05210.html>





佐賀県子育て
応援キャラクター
さがっぴい



人が輝く!佐賀が輝く!

子育てし大県 “さが”



2 子どもの”救える命“を 救います

県では、県内の産科医療機関で生まれたすべての新生児を対象に、生まれつき持っている病気を早期に見出し、治療することで、発症や進行を防ぐための検査事業を行っています。

今年7月からは、国が無料検査対象としている20種類の疾患に加え、検査方法や治療法が確立している2種類の希少難治性疾患(発症すると重症化し命にかかわる重大な疾患)を県独自に追加し、県内で生まれるすべての新生児が「無料で22疾患の検査を受けられるようになりました」。

今後も、佐賀の未来を担う子どもの”救える命“を救い、子どもの健やかな成長を見守っていきます。

※検査の受検は保護者の同意が必要です。



1 県民に寄り添う、 子育てし大県”さが”を さらに広げていきます

県では、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまで、各ライフステージに応じた切れ目ない、きめ細やかで寄り添った支援を行う「子育てし大県」さが「プロジェクト」に取り組んでいます。

今年度の新たな取組として、佐賀の子育てのしやすさを知ってもらい、安心して楽しく子育てしていただけるよう子育てに役立つ情報をまとめたリーフレットや赤ちゃんと一緒に使えるギフトをお届けする「さが子育てエール便」を始めました。今年の4月1日以降に赤ちゃんが生まれた佐賀県内の全ての家庭が対象です。



「さが子育てエール便」

3 小児がん患者などを 支える家族を支援します



小児がん患者などの治療にあたっては、東京や大阪など都市部での入院治療等が必要な場合があります。その際、移動には家族の付き添いが必要となるなど、通院費用が大きな経済的負担となります。そのため、今年度から県では、その経済的負担を軽減するために、小児がん患者などと付き添う保護者や兄弟姉妹の交通費を支援しています。

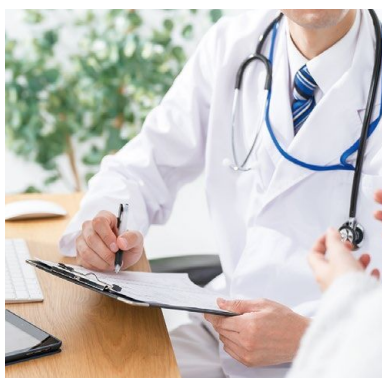
小児がん患者などとその家族の想いに寄り添い、がんになっても安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。

※小児がん、指定難病患者(いずれも18歳以下)、小児慢性特定疾病患者

4 児童思春期の精神科医療 の充実を目指します

近年、不登校や発達障害、インターネット・ゲーム依存など、こころの問題を抱える子どもが増加しています。こうした子どもたちの中には、専門的な医療が必要なこともあります。症状に応じて早期に入院し、治療を受けることで、重症化せずに回復することが期待できます。

そこで、県では、児童思春期専門の入院施設がある「肥前精神医療センター」と連携して、入院患者の緊急時に専門医が対応できる体制づくりや看護体制を充実することで入院医療の体制を強化します。入院による治療が必要な児童思春期の子どもが専門的な医療を受けられる体制を整え、子どもたちとその家族が安心して生活できるよう支援します。



体験会の様子

また、県内の年長5歳児を対象に、SAGAアクア体験会「SAGA Enji Basha」を開催します。世界レベルの施設での体験を通して、佐賀への誇りの醸成につなげていきます。

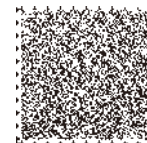
お問い合わせ先

- 2 【先天性代謝異常等検査】 ども家庭課 ☎0952-25-7056 ✉kodomo-katei@pref.saga.lg.jp
- 3 【小児がん患者等家族交通費支援】 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp
がんポータルさが URL <https://www.ganportal-saga.jp/>
- 4 【児童思春期精神科医療体制強化】 障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp



お問い合わせ先

- 1 【さが子育てエール便/SAGAアクア体験会】
ども未来課 ☎0952-25-7381 ✉kodomomirai@pref.saga.lg.jp
子育てし大県“さが” URL <https://saga-kosodate.jp/>





人が輝く!佐賀が輝く!

くらしを支える



1 内水氾濫対策を進めています

県内では、令和3(2021)年まで4年連続で、特別警報が発表される大雨が発生しています。

特に令和3年8月豪雨では、令和元年佐賀豪雨と同じ場所で内水氾濫が起き、県内各地に大きな被害をもたらしました。このため、県では、被害を軽減し、二度と同様の被害とならないよう内水対策プロジェクト(プロジェクトF※1)を立ち上げ、その対策に特に力を入れて取り組んでいます。



排水ポンプ車による排水の様子 広田川排水機場の施工状況

これまで排水ポンプ車の導入や内水監視カメラ・浸水センサーの設置、ダムの貯留機能強化などを行ってきましたが、今年度も田んぼダムの取組面積の拡大や、多数の箇所での河川浚渫※2の実施、排水ポンプの増設

排水機場の新設など、豪雨災害時の被害軽減に努めています。

※1/プロジェクトFの「F」とは、「Inland water Flooding(内水氾濫)」の略称であり、「仮に、方が」という意味での「if」とかけ合わせたもの ※2/流水の阻害となっている河川内の堆積土砂を取り除くこと

2 未来を拓く 幹線道路ネットワーク

有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号などを基軸とした幹線道路ネットワークの整備に取り組んでいます。



5 ニセ電話詐欺被害などの防止に努めます

などを呼びかけ、交通事故のない安全で安心な佐賀県の実現を目指します。



SNS等を利用した詐欺※の被害が増加傾向にあり、いずれも被害額が高額に及ぶなど深刻な被害が続いています。

その手口は、年々巧妙化、複雑化しており、誰もが被害に遭うおそれがあることから、被害を自分事として捉え、自主防犯意識を高める必要があります。県では、詐欺の特徴や被害者の傾向に応じて、テレビやSNSなどを活用した効果的な広報を行うことで、被害の未然防止を図り、安全で安心な暮らしの実現を目指します。

※SNSやマッチングアプリなど、インターネットを通じて知り合った相手とSNSなどでのやりとりを通じて、直接会うことなく、現金や暗号資産などをだまし取られる詐欺の手口。

3 歩いて楽しい道路づくり

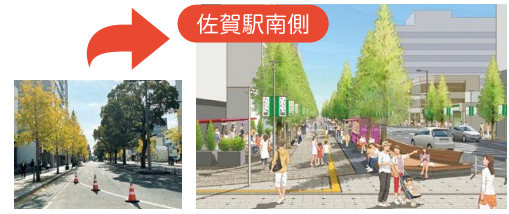
県では、佐賀駅南側の道路を4車線から2車線に減らし、歩道を広げることで、歩いて楽しい道路の整備を進めています。



R4.11.12諸富IC開通式

昨年11月には諸富ICが開通し、佐賀県と福岡県が有明海沿岸道路で初めて繋がりました。また、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続するエリア「Tゾーン」の整備も着々と進み、完成すれば九州佐賀国際空港や佐賀県医療センター好生館などの広域的なアクセスが飛躍的に向上することになります。

今年度は、車道を減らして歩道を広げる工事と、道路を楽しい場にしていく



整備前の状況 完成イメージ

4 交通事故のない安全・安心な佐賀県へ

ための仕組みづくりに取り組んでいます。整備後の歩道には、親子連れや友人同士などでゆったりと座ることができるベンチを設置し、お店がテラス席を設けたり、キッチンカーなどが出店することで、この場所を訪れる人々が思い思いの豊かな時間を過ごすことができる道路をつくっていきます。

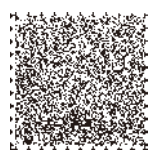


佐賀県の人口10万人あたりの人身交通事故は、全国平均と比較して高い水準で発生しています。県では、県民一人一人が交通事故防止を自らの課題とし、交通安全意識を高めてもらうため、「広報啓発」や「交差点のカラー化」などデザインの力によって交通事故防止を促す「SAGA BLUE PROJECT」を展開しています。

今年度は、人身交通事故の要因となっているスマホ使用などの「よかろうもん運転の根絶」、「通学路等での安全な速度」、「ハンドサインによる横断の意思表示」

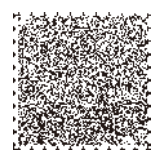
お問い合わせ先

- 1 【歩いて楽しい道路づくり】 まちづくり課 ☎0952-25-7159 ✉machizukuri@pref.saga.lg.jp 佐賀駅南4車線道路のリニューアルを行います URL https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00389964/index.html
- 2 【SAGA BLUE PROJECT】 暮らしの安全安心課 交通事故防止特別対策室 ☎0952-25-7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp SAGA BLUE PROJECT URL https://saga-blueproject.jp 警察本部 交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
- 3 【ニセ電話詐欺被害等防止推進事業】 暮らしの安全安心課 ☎0952-25-7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp 暮らしの安全安心課Instagramアカウント:sagakenkurashinoanzenanshinka



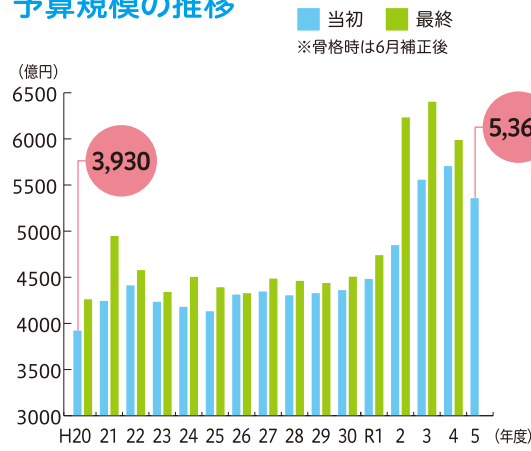
お問い合わせ先

- 1 【内水氾濫対策】 危機管理防災課 ☎0952-25-7362 ✉kikikanribousai@pref.saga.lg.jp 農山村課 ☎0952-25-7125 ✉nousanson@pref.saga.lg.jp 河川砂防課 ☎0952-25-7161 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp
- 2 【幹線道路ネットワーク】 道路課 ☎0952-25-7155 ✉douro@pref.saga.lg.jp 佐賀唐津道路と有明海沿岸道路が接続するエリア「Tゾーン」の整備を進めています URL https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00379552/index.html

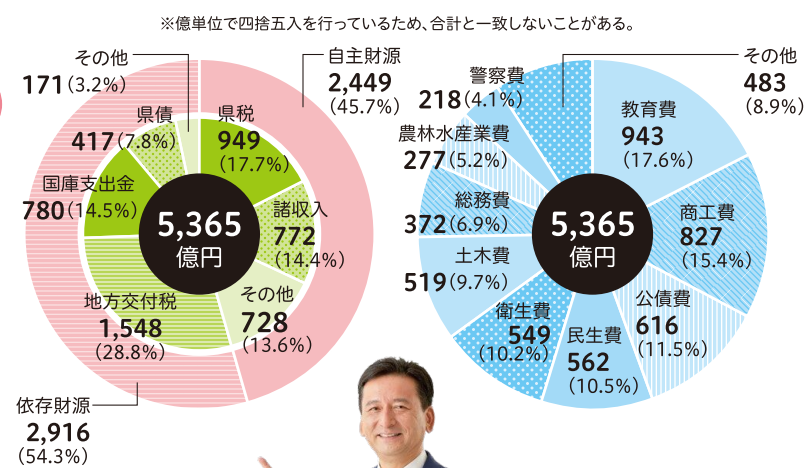


令和5年度佐賀県の当初予算

予算規模の推移



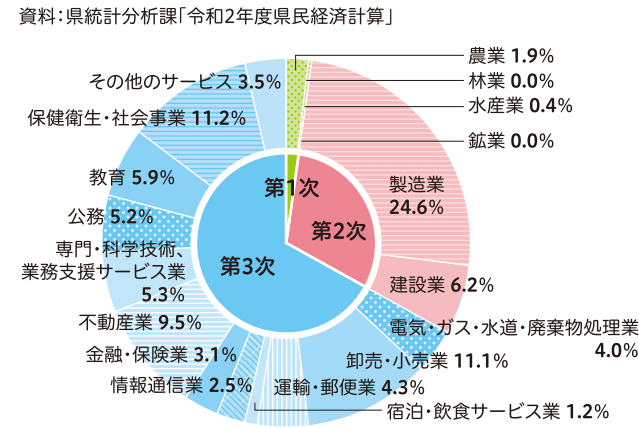
歳入予算



歳出予算

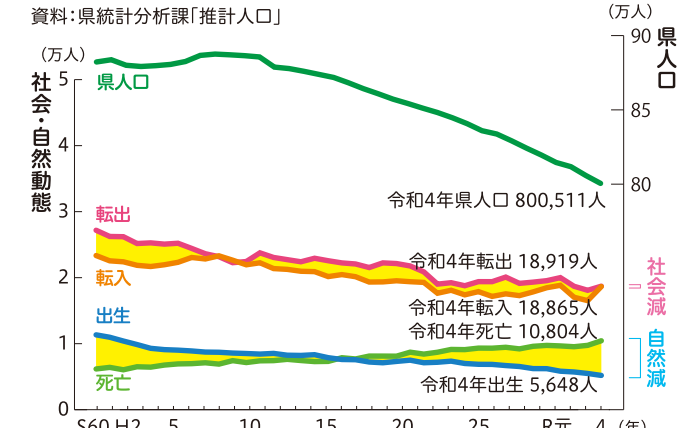
佐賀県の産業

経済活動別県内総生産(名目)の構成比



佐賀県の人口

人口の動態

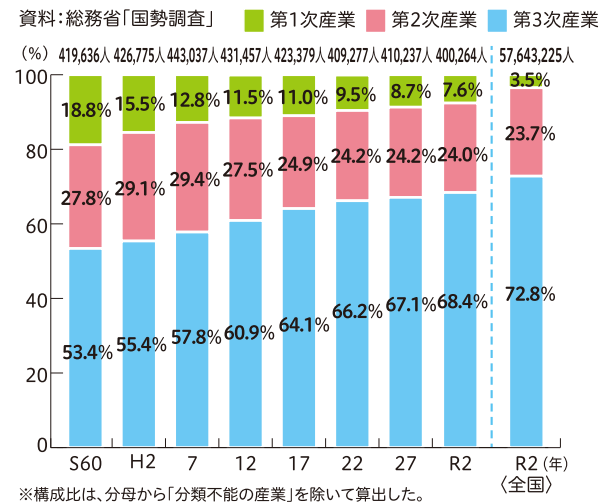


世界に誇れる佐賀県

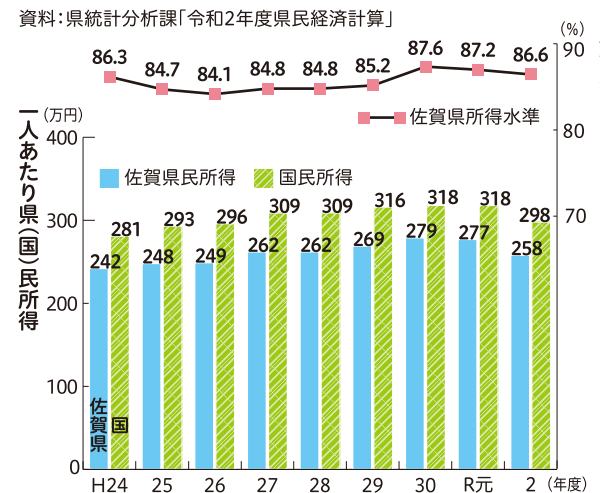
<p>全国1位</p> <p>成分献血者率 (人口千人当たり) 19.2人</p> <p>【R3年】 日本赤十字社「血液事業統計資料(R3年)」・ 総務省 統計局「国勢調査(R2年)」</p>	<p>全国1位</p> <p>シリコンウエハ (表面研磨したもの)出荷額 1,543億円</p> <p>【R2年】 経済産業省「経済センサス-活動調査」</p>	<p>全国1位</p> <p>耕地利用率 (作付延べ面積/耕地面積) 133.7%</p> <p>【R3年度】 農林水産省「作物統計調査」</p>	<p>全国1位</p> <p>みかん 早生温州のうち ハウスみかん収穫量 6,540t</p> <p>【R3年産】 農林水産省「作物統計調査」</p>
<p>全国1位</p> <p>人工林率 (人工林面積/森林面積) 67%</p> <p>【R4年度】「佐賀県森林・林業統計要覧」</p>	<p>全国1位</p> <p>学習者用PC 1台当たりの児童生徒数 0.9人/台</p> <p>【R4.3.1】文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」</p>	<p>全国1位</p> <p>主要道路舗装率 (対主要道路実延長) 100%</p> <p>【R2年度】総務省 統計局「統計でみる都道府県のすがた2023」</p>	
<p>全国2位</p> <p>障害者法定雇用率 達成企業の割合(民間企業)※ 66.6%</p> <p>【R4.6.1】厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」</p>	<p>全国2位</p> <p>ボランティア活動の 行動者率 (10歳以上) 24.8%</p> <p>【R3年】総務省 統計局「社会生活基本調査」</p>	<p>全国3位</p> <p>年少人口の割合 13.5%</p> <p>【R2年】総務省「国勢調査」</p>	

※障害者法定雇用率とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、一定の割合に相当する数以上の身体障害者及び知的障害者を雇用しなければならないと定められている。

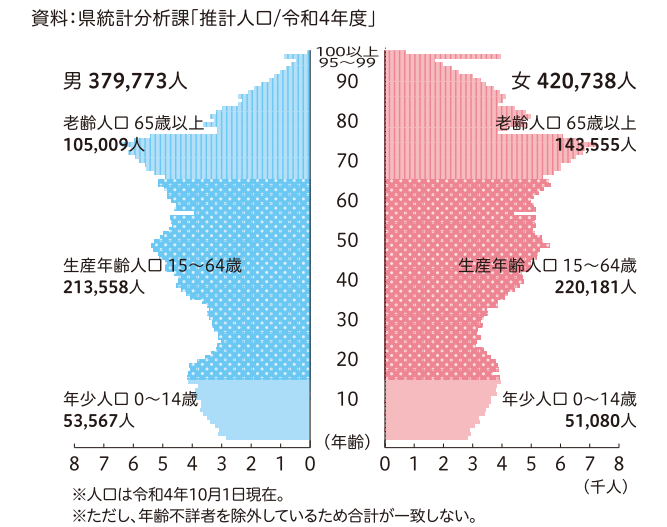
就業人口の推移



県民所得の推移(1人あたり)



人口ピラミッド



世帯数及び世帯人数の推移

